

釧路工業高等専門学校地域振興協力会

会報

第8号

平成22年(2010)6月

「平成22年度定時総会を開催」

6月22日(火)、平成22年度定時総会が釧路プリンスホテルで開催されました。

釧路高専校長、釧路市産業振興部長、釧路商工会議所専務理事に来賓としてご臨席いただき、企業会員及び釧路高専関係者等、約50人が出席しました。

設立から6年目を迎え、厳しい経済状況が続く釧路において、地域の工業系高等教育機関としての釧路高専に対する地元企業の期待が高まる中、事業報告、事業計画(案)及び役員改選(案)が満場一致で承認されました。

当協力会企画の釧路高専専攻科学生の特別研究発表会の実施をはじめとする様々な事業など、地域で釧路高専を活用し、支援する取組みの更なる推進を確認しました。

総会終了後は、引き続き懇親会も開催され、地域に根ざした産学連携の発展が期待されます。



目次

- ・「会長挨拶」 会長 島本 幸一…………… 2
- ・「釧路高専校長挨拶」 釧路高専校長 岸浪 建史…………… 2
- ・「釧路市挨拶」 釧路市産業振興部長 星 光二…………… 3
- ・「釧路商工会議所祝辞」 釧路商工会議所専務理事 濱屋 重夫…………… 3
- ・「平成21年度事業報告」…………… 4
- ・「平成21年度事業トピックス」…………… 4
- ・「平成22年度事業計画」…………… 5
- ・「役員改選」…………… 5
- ・「新任教員紹介」…………… 6

「会長挨拶」

会長 島本 幸一

本日はお忙しい中、釧路高専地域振興協力会の平成22年度定時総会にお集まりいただき心から厚くお礼申し上げます。

本日は来賓として岸浪校長先生、そして釧路市からは星産業振興部長、商工会議所からは濱屋専務理事にもお越しいただき誠にありがとうございます。

釧路高専地域振興協力会は、商工会議所が事務局となり、更に釧路市役所が経済界や産業に対して、いろいろな面からフォローをしていただくという形の中で成り立っていると思います。

各地にもこのような地域の産業界と高専が連携する高専協力会があると聞いていますが、その高専協力会は何をしていくのかと暗中模索の中、他の協力会はおそらく事業のマンネリ化で大変苦勞していると思います。

そんな中、釧路高専地域振興協力会は、例年、専攻科学生の発表会でのプレゼンテーションが行われておりますが、3年4年と継続していくことは大変であります。審査の先生方もわずかに限られた10分の中で専攻科学生の特別研究のプレゼンテーションを聴き、大変な労力を集中しなければならないわけであり、毎回ご苦勞をおかけしております。しかし、やはり「継続は力なり」で、地域の大事な人材である専攻科学生のために、この事業を継続して行っていきたく思いますので、ご理解を賜りたいと思います。

現在、世の中の景気は見えてきませんが、前を見て明るい気持ちになって物事をとらえていきたいと思えます。自分の心の中で「やればできる」「絶対できるんだ」という気持ちを常に持ちながらやっていけば、自ずと前に少しずつ開けてくるだろうと思っています。

勝とうと思えば必ず勝つ、負けると思えば負けるのですから、そのつもりで頑張っていきたいと思えますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



(島本幸一 地域振興協力会会長)

「釧路高専校長挨拶」

釧路高専校長 岸浪 建史

島本会長をはじめ、釧路高専地域振興協力会の皆様方におかれましては、釧路高専の教育研究そして産学連携には大変お世話になっておりますことをこの場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

例年は懇親会の場で紹介いただいておりますが、今回は定時総会に初めて参加させていただきました。このような機会を与えていただきました島本会長をはじめ地域振興協力会の方々にお礼申し上げます。

さきほど、島本会長からいろいろお褒めの言葉をいただいておりますが、今年度は177名の本科卒業生を社会に出しており、そのうち77名が進学、そして90名が就職という状況になっております。

また、専攻科におきましても23名の修了生全員が大学評価学位授与機構から学士の学位授与を受けております。すなわち23名全員が大学卒業の資格を与えられ、地域振興協力会の皆様のご支援の賜と思っております。と申しますのは、毎年、地域振興協力会を始めとする地域の方々により専攻科学生の特別研究発表会を開催していただき、企業の皆様方からいろんなご質問やご助言を学生にいただき、学生の研究に対する姿勢やコミュニケーション能力向上等の教育にひとかたならぬご協力いただいております。改めて感謝申し上げます。

平成23年度には、北海道地区の高専が当番で全国の高専学生による“デザインコンペティション2011 in 北海道(通称:デザコン)”を釧路市で開催することになっております。

また、全国高専学生による“設計教育高度化ワークショップ、3次元デジタル造形設計コンテスト”を釧路市で開催します。このコンテストにおいて本校は一昨年優勝、昨年は3位の成績をおさめております。最後に、今後とも釧路高専の発展のために皆様からのご助言やご叱責をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。



(岸浪建史 釧路高専校長)

「釧路市挨拶」

釧路市産業振興部長 星 光二

蝦名市長に代わりまして挨拶をさせていただきます。総会が無事終了し、高専を中心にもり立てていこうということを改めて確認されたことを心よりお喜び申し上げますとともに、そのような形で物事を進めていただいている地場の皆様方に心より敬意を表するしだいでありませう。

同時に島本会長から、勝つと思えば勝てるというお話がございましたが、ワールドカップ戦を観ながら、予想では日本ははなから全然勝負にならないと思いながらも、やはり意外とやるなというのが実感でございました。負けは負けですが、しかし、いい戦い方をするなという思いが、次の戦いにつながっているなと感じました。その戦い方を観た中で思ったのは、日本にJリーグができ、その選手層の厚み・広がりがあるワールドカップに毎回出場できる日本という国を作ったんだというお話を聞き、なるほどなと思いました。

つまり、釧路の地で歴史的に蓄積された技術をさらに広がりを持って、また時代にあった形で進めていく。本日お集まりの地場のそれぞれの事業所の皆様方がおり、同時にその中核に釧路高専がしっかり腰を据えそして優秀な人材を輩出していただく。このことが釧路にとって技術の広がりや厚みを持たせる部分で、大変な力を発揮していただいていると思います。

釧路の明日を作っていただく部分で、釧路高専にはますます頑張ってくださいととともに、その力を引き出す部分は行政でもあり、商工会議所でもあり、そして何よりも地場の企業の皆様方個々の力だと思っております。

最後に、これからは釧路高専、商工会議所、そして地場の企業の皆様方と連携を取り互いに力を強め合いながらチームを組んでいこうと思っております。

本日はおめでとうございます。



(星 光二 釧路市産業振興部長)

「釧路商工会議所祝辞」

釧路商工会議所専務理事 濱屋 重夫

まずもって、釧路高専地域振興協力会定時総会が盛会裏に終了しましたことを心よりお祝い申し上げます。

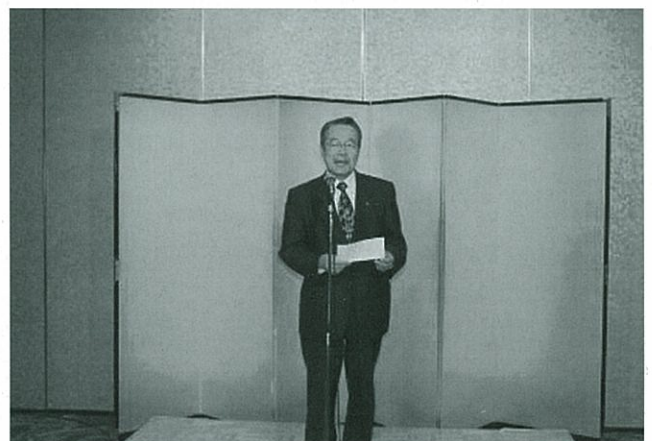
また、島本会長様をはじめ、役員、会員の皆様におかれましては、共同研究、インターンシップなど様々な活動を通して、産学官連携にご尽力いただいておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、我が国の経済は、欧州などの財政に起因する不安定要素が残る中、デフレ傾向と低成長のもとで厳しい雇用情勢が続いていることに加え、社会保障制度や財政状況に対する不安が広がっております。先般、新内閣が発足いたしました。強力なリーダーシップの下、不安を払拭すべく機動的な経済運営に期待しているところでございます。

一方、当地域におきましても依然として厳しい雇用情勢や公共工事の減少など、多くの課題を抱えておりますが、こうした環境下において、この釧路に技術系の高等教育機関があるということは大きな財産であり、高度な研究内容や技術力など地域企業の開発研究に貢献されておりますことから、今後とも産業技術の振興と地域社会の発展にご尽力いただきますようお願い申し上げます。

商工会議所といたしましても、力強い地域経済の確立を目指し、地域に根ざした皆様の企業とともに、活力ある地域づくりに邁進して参る所存でございます。

結びになりますが、釧路高専地域振興協力会の益々のご発展と、本日ご出席の会員皆様のご健勝、ご活躍を心より祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



(濱屋重夫 商工会議所専務理事)

「平成21年度事業報告」

＜協会講座＞

協会会員企業による高専専攻科学生を対象とした特別セミナーが開催された。出席者各23名(釧路高専)

第1回 平成21年12月3日

講師 (有)加賀谷ブリック代表取締役

加賀谷淳一氏

第2回 平成22年1月14日

講師 (株)釧路製作所 取締役本社工場長

新名 弘人氏

＜専攻科特別研究発表会＞

平成22年2月25日(釧路プリンスホテル) 出席者126名
内容 専攻科学生による研究発表において審査を行い、優秀な研究に対し、会長賞、特別賞が授与された。

＜表彰式＞

平成22年3月15日(釧路高専卒業式) 出席者180名
内容 機械、電気、電子、情報、建築学科より推薦された卒業生5名に会長賞が授与された。

＜インターンシップ受入＞ (各企業)

学生のインターンシップの受入れに対する支援
会員企業の14社(19名受入)が協力
受入学生 4年生15名、専攻科学生4名

「平成21年度事業トピックス」

～釧路高専地域振興協力会講座 (特別セミナー講義)を実施～

釧路高専の専攻科「特別セミナー」の講義が平成21年12月3日に(有)加賀谷ブリック代表取締役 加賀谷淳一氏、22年1月14日に(株)釧路製作所取締役本社工場長 新名弘人氏により実施されました。

この講座は、会員企業の経営者や技術者が専攻科学生に対し、職業観や起業意識の育成等を図るため、体験・実務的な講義を行うもので両氏は釧路高専岸浪校長から「特命教授」の発令を受けて講義しました。

(有)加賀谷ブリック代表取締役・加賀谷氏から、苦労された青年期時代の体験談や開発された機能性建材の特徴と開発の経緯、そして障がい者との協働による商品作りを通じた社会貢献活動など幅広い内容が紹介されました。講義の最後には、「盤根錯節(ばんこんさくせつ)に遭わずば何を持って利器を分かたん」「驕るな、高ぶるな、偉ぶるな、舞い上がるな」の2つの座右の銘を紹介され、聴講していた学生にとって大変有意義な講義となりました。

また、(株)釧路製作所取締役本社工場長・新名氏から、「会社は、従業員で成り立っている」「選ばれる会社に」「皆さんは、会社にとっての最大の資本家である」「当事者意識を持つ」等自らが経験してきた事を解りやすく説明され、講義終了後聴講していた学生から、会社を経営するにあたってのプレッシャーや会社での労働賃金の決め方

等活発な質問に、経験談を交えて答えられ、大変有意義な講義となりました。

この講座は、22年度も年3回程度実施を予定しており、各会員企業の経営者・技術者の皆様に講師となっていたべく依頼を行います。どうぞ、よろしく願いいたします。



(講義する(有)加賀谷ブリック代表取締役・加賀谷氏)



(講義する(株)釧路製作所取締役本社工場長・新名氏)

～専攻科学生特別研究発表会・交流会～

地域が技術者を育て支援する取組として、学生が研究成果を地域に発信する場として、平成21年度産学官連携推進事業「専攻科学生特別研究発表会」を平成22年2月25日に釧路プリンスホテルで開催しました。

発表会は、協会会員をはじめ、学生の保護者及び釧路高専教職員等、約100人の出席を得て行われました。建設・生産システム工学専攻及び電子情報システム工学専攻の2年生26人が2年間の集大成となる特別研究の成果を口頭にて、また、1年生27人は現在の研究内容をポスターにまとめて発表しました。

発表会終了後の専攻科学生を囲んでの交流会では、釧路高専地域振興協会会長より、最も優れた取組み及び特徴のあるユニークな研究に対して会長賞・特別賞・奨励賞の表彰が行われました。また、2年生全員のスピーチなどもあり、盛会のうちに終了しました。



(専攻科2年生による口頭発表の様子)



(専攻科1年生によるポスター発表の様子)



(表彰を受ける専攻科2年生)

「平成22年度事業計画」

1. 釧路高専を活用した人材育成
 - ・高専の教員及び施設・設備等を活用
 - ・企業研修等講師として高専教員の派遣
2. 企業訪問による技術相談
 - ・積極的に展開するため企業訪問の実施
3. 釧路高専との共同研究の推進
 - ・教員シーズ発表会
 - ・卒業研究及び卒業研究テーマの募集
4. 釧路高専学生のインターンシップの受け入れに対する支援
5. 平成22年度専攻科学生の特別研究発表会開催及び表彰
 - (1)専攻科学生特別研究発表会
産学官連携推進実行委員会を組織して開催
委員長：釧路高専地域振興協会会長
 - (2)優秀研究に対する表彰及び会員企業と専攻科学生との懇談・情報交換会
6. 本科卒業生に対する表彰

各学科から推薦された本科卒業生5名に対する表彰の実施（釧路高専卒業式にて実施）
7. 産学連携共同（CO-OP）教育
 - (1)「協力会講座」～会員企業による特別講演の実施（専攻科特別ゼミナールでの講義）
 - (2)釧路高専での低学年進路学習企画「職業ガイダンス」での講師
対象：3～4学年の希望学生 約40人程度
 - (3)企業人材活用によるCO-OP教育
8. 地域振興協会会報（8号）の刊行・配付

「役員改選」

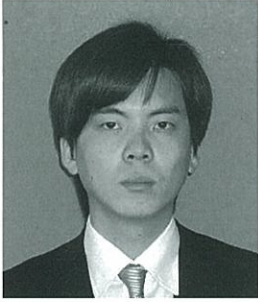
平成22年度定時総会において、役員改選が行われ、島本会長が留任したほか、副会長に阿部信之氏が選任されました。新役員は次のとおりです。

顧問	岸浪 建史	釧路工業高等専門学校 校長
	蝦名 大也	釧路市長
	柴田 達夫	釧路総合振興局 局長
	安田 修	釧路開発建設部 部長
	山本 壽福	釧路商工会議所 会頭
会長	島本 幸一	釧路地域工業振興協会 会長
	鈴木不二男	(社)釧路地方林業会 会長
副会長	阿部 信之	釧路市建設事業協会 会長
	濱屋 重夫	釧路商工会議所 専務理事
幹事長	残間 順雄	釧路鉄工協会 会長
副幹事長	岡本 憲明	(株)三ツ輪商会 専務取締役
	綿貫 幸宏	釧路工業技術センター センター長
幹事	内藤 勉	日本製紙(株)釧路工場 取締役釧路工場長
	平林 武文	王子製紙(株)釧路工場 参与釧路工場長
	山角 浩司	北海道電力(株)釧路支店 支店長
	両角 幹彦	釧路ガス(株)取締役社長
	北島 哲夫	(社)釧路水産協会 会長理事
	河村 信幸	釧路地区農業協同組合長会 会長
	杉江 豊	(株)釧路製作所本社工場 執行役員橋梁部長
	中島 太郎	釧路コールドマイン(株)代表取締役
	長江 文男	長江建材(株)代表取締役会長
	伊藤 正志	(株)富士計器代表取締役
	佐藤 厚	(株)ニッコー代表取締役
	濁沼 英一	宮脇土建(株)代表取締役
	山中 博	葵建設(株)代表取締役社長
	天方 智順	東工業(株)代表取締役
	漆崎 隆	萬木建設(株)代表取締役
	宮田 昌利	サンエス電気通信(株)代表取締役
	白崎 義章	白崎建設(株)代表取締役社長
	西村 智久	釧石工業(株)代表取締役
	福井 克美	トーワ計装(株)代表取締役会長
	伊貝 正志	釧路総合印刷(株)代表取締役
長田 武興	近藤林業(株)代表取締役	
得地 吉尾	得地ファニチャ工業(株) 代表取締役	
高尾 實	タカオ工業(株)代表取締役会長	
岩淵 義孝	釧路高専地域共同テクノセンター センター長	
荒井 誠	同 副センター長	
高橋 剛	同 副センター長	
監事	佐藤 優	釧路信用金庫 理事長
	加納 則好	(株)加納工務店 代表取締役

企業会員 94社 個人会員120人 (H22. 7. 1現在)

「新任教員紹介」

★研究分野は燃焼工学・熱工学・流体工学です



機械工学科 助教
片岡 秀文

○自己紹介

私の出身地は三重県亀山市です。亀山市は、SHARPの亀山工場で生産されている液晶テレビAQUOS、カメラマロウソク、日本武尊のお墓が有名な街で、三重県は伊勢神宮、松坂牛、赤福、伊賀の忍者などが有名です。お勧めの土地ですので、ぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか。中学校と高校は私立の高田学苑、大学は横浜国立大学工学部生産工学科をそれぞれ入学・卒業いたしました。その後、横浜国立大学大学院工学府システム統合工学専攻機械システム工学コースに進学、2009年3月に博士（工学）の学位を取得し、2009年4月に釧路工業高等専門学校機械工学科に助教として着任いたしました。博士論文の題目は『可燃性超音速流中におけるデトネーションの開始と伝播』です。

○研究内容

デトネーション（爆轟）と言えは何を思い浮かべでしょうか？自動車用エンジンのノッキング（異常燃焼）が真っ先に挙がることと思います。過去にはノッキングの原因としてデトネーションが挙げられていましたが、現在ではこの2つは異なる現象であると認識されています。私が研究の対象としているデトネーションとは、衝撃波とその背後の発熱反応（燃焼）が相互作用を及ぼしながら可燃性混合気体中を伝播する現象のことです。デトネーションの特徴は、その伝播速度は超音速であり、最高圧力と温度は通常の燃焼よりも高くなることです。また、デトネーションが煤が塗布された区間を伝播すると図に示した菱形のセル模様があらわれます。このセル模様はデトネーションの特性長さであり、様々な研究において応用されています。

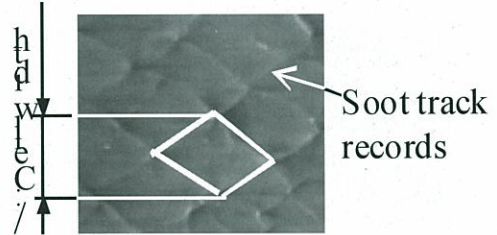
デトネーションの応用技術としてはパルスデトネーションエンジン（Pulse Detonation Engine, PDE）や静止デトネーションエンジン（Standing Detonation Engine, SDE）などの航空宇宙機用エンジンが挙げられます。これらのエンジンは超・極超音速飛行中においても作動が可能であると考えられており、次世代航空宇宙機用のエンジンとして期待されています。

また、身近なエンジンへの応用技術として、天然ガス

を燃料としたガスエンジンにおいてデトネーションフレームジェット点火システムが考えられています。

○地域企業との関わり

北海道はバイオマス燃料となる資源が豊富であるため、今後はバイオマス燃料の燃焼に関する研究を行っていきたいと思います。また、燃焼工学・熱工学・流体工学（特に圧縮性流体）に関する問題であれば、様々な形で協力することができると思いますのでよろしくお願いいたします。



Direction of detonation propagation



【編集後記】

釧路高専地域振興協会も会員の皆様のおかげで6年目を迎えました。定時総会での皆様方の挨拶にもあるように、釧路の経済状況は非常に厳しいものがあります。この状況を乗り越えるためにも釧路高専と協会が中心となって釧路地域の発展に寄与する事を願っております。

今後とも本協会の充実のためにご協力よろしくお願いいたします。



【釧路工業高等専門学校地域振興協会事務局】

〒085-0847 釧路市大町1丁目1番1号
釧路商工会議所内
TEL 0154-41-4141 (代表)
FAX 0154-41-4000

【釧路工業高等専門学校】

〒084-0916 釧路市大楽毛西2丁目32番1号
TEL 0154-57-7216 (研究協力室)
FAX 0154-57-5360
URL <http://www.kushiro-ct.ac.jp>

